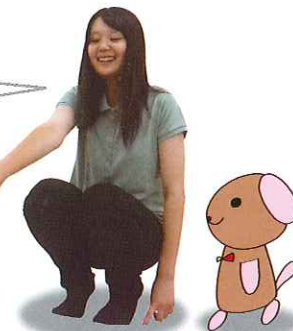


目指せ! 未来のスペシャリスト

福祉の職業ってたくさんあるんだね・・・

～卒業生にインタビュー～



福祉系大学 学生 (千葉県立松戸向陽高等学校卒)

小川 晴夏

「おじいちゃんおばあちゃんが好きだから。」そんな気持ちで入学した私ですが、高校では熱意ある先生方・クラスの仲間に支えられ、有意義な3年間を過ごすことが出来ました。実習やボランティアで多くの人に出会い、その数だけの笑顔に出会うことも出来ました。このような経験をすることが出来た高校は、私の宝物です。



特別養護老人ホーム 介護職員 (千葉県立君津青葉高等学校卒)

森山 愛美

この仕事に就いたのは、インターンシップやワークキャンプに参加して、利用者さんとの関わり、職員さんや施設の雰囲気がとてもよかったからです。1人ひとりの利用者さんに関わる時間が多く、しっかりその人を見ることができ、その人に合わせて支援できる楽しさがあります。利用者さんの笑顔はやりがいの1つです。専門的な学習を深めて、その人の生活をしっかり支援していきたいです。人の命に関わる大変な仕事ですが、ボランティアなどに積極的に参加して介護の仕事を知って欲しいです。



短期大学部児童総合学科 学生 (千葉県立勝浦若潮高等学校卒)

紫 関 悠 華

私は高校の福祉系列で、社会福祉基礎、保育などを学ぶことを通して、子供と関わる職業にあこがれ、現短大に進みました。短大では、保育のみならず、福祉について幅広く学ぶため、高校時代で得た知識が大変役に立っています。校外宿泊研修もあり、友人と共に学び、充実した学生生活を送っています。これからは、さらに勉強に励み、社会に貢献できる仕事に就けるよう頑張りたいと思います。



介護老人保健施設 介護職員 (千葉県立鶴舞桜が丘高等学校卒)

渡 邊 沙 紀

私の夢は、介護職員になることでした。今はその夢が叶って、介護老人保健施設で介護の仕事をしています。高校で学んだ事は大いに役立っていますが、やはり実際にやってみると思うようにいかないことも多くあります。介護には、大変な仕事といったイメージがあると思いますが、利用者さんが「ありがとう」と言ってくれるととても嬉しい気持ちになって、利用者さんのために頑張ることが出来ます。



看護専門学校在学中 学生 (千葉県立松戸向陽高等学校卒)

後 藤 早 輝

高校の三年間、授業や施設実習で福祉や介護に必要なことを学びました。効果的なコミュニケーションの方法や介護技術、医療的なことを学び自分の知識として活かすことができました。その中で医療の授業や実習先の病気をもった利用者様に特に影響を受けました。そこで、日常生活上のお世話だけでなく、医療の面からも人の支えになりたいと思い看護に進みました。



障害者自立支援施設 職員 (千葉県立船橋豊富高等学校卒)

宇 吹 由

今は仕事を覚えることで精一杯です。利用者の方の気持ちが理解できずに怒らせてしまうこともあります。その分、気持ちが伝わったときは安心します。散歩に行ったり、買い物に行ったりする時は、とても有意義に過ごせています。この仕事をはじめ、利用者の方にたくさんの優しさを伝えたいと思うようになりました。

私は利用者のニーズを尊重できる、介護福祉士になりたいな!

私は大学に進学して、社会福祉士を目指したいな!